

朝日新聞 DIGITAL d POINT

朝日新聞デジタル dポイントコース mini dポイント

朝日新聞デジタルを3か月のご購読で **2,000** ポイント進呈!!

トップ 社会 経済 政治 国際 スポーツ オピニオン IT・科学 文化・芸能 ライフ 教育・子育て 医療・健康 地域

朝日新聞デジタル > 記事

医療サイト 朝日新聞アピタル

禁止の「並列麻酔」中に患者死亡 三重大病院、公表せず

会員記事

甲斐江里子 2021年2月17日 21時18分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷



三重大病院=津市、村井隼人撮影

三重大学 病院（津市）は17日、麻酔科 医が2017年夏、同時並行で複数の患者の麻酔管理をし、患者1人が死亡する事故があったことを明らかにした。こうした麻酔管理は「並列麻酔」と呼ばれ、日本 麻酔科 学会は原則禁止としている。病院は「並列麻酔が直接の事故原因ではない」と説明。その後も並列麻酔を続けていたという。

この事故について、院内外の委員による調査委が18年4月に報告書を作ったが、病院は公表してこなかった。朝日新聞による開示請求を受け、病院が17日夜、報道各社に説明した。

病院によると、事故が起きたのは、夏休みで麻酔科 医が減っていた時期で、1人の麻酔科 医が最大4人の麻酔管理を同時に実施したという。

日本 麻酔科 学会は、急変時の対応が困難になる恐れがあるなどとして、1人の麻酔科 医が同時に複数の患者の麻酔管理をす

ることを原則的に禁止している。病院は事故時について「麻酔科 医がいる前で心停止した」と説明し、並列麻酔との直接の関連を否定した。

病院によると、緊急手術などもあり、事故後も並列麻酔を続けたといい、18～20年の全身麻酔のうち1～2割程度を占めたとみられる。「今年に入ってやっていない」としているが、「相当数、手術を制限できたらやめられるが、安全を確保できる限り続けてきたというのが実態」という。手術を受ける患者に対し、並列麻酔の説明はほぼしていないという。

朝日新聞に一部開示された報告…

この記事は **会員記事** です。無料会員になると月5本までお読みいただけます。

残り：289文字 / 全文：876文字

無料登録して全文を読む >>> ログインして全文を読む >>>

2種類 **会員記事** が月300本まで読めるお得なシンプルコースは **こちら**

僕のコーチはがんの妻

妻ががんになり、記者である僕に料理の熱血指導を始めました。



花粉症対策、
どんなこと
してる？

みんなの意見を見る ▶

YAHOO! JAPAN ニュース

PR 注目情報

【探録】松井咲子さんと学んで始める
未来を守る、これからの投資信託とは？

滋賀の里で生まれた純米吟醸酒「権座」
必見、酒づくりに込めた熱い思い。

ミッションは月へ。技術究めた旅。
月着陸機に使われるシチズンの独自素材

【探録】池上彰さんと考える、
コロナ禍、その先の教育 / SAPIX

スノーピーク山井会長に聞く、
ファミリー企業における事業承継

教育のオンライン化にどう向き合う？
受験生の不安を解消する大学の挑戦とは

「投資のソムリエ」の魅力とは？
変化の激しい今、資産形成に必要なこと

日々の食生活にも応用できる！
野菜で「免疫維持」する食術

朝日新聞社会部 公式ツイッター

Tweets by Asahi_Shakai

※Twitterのサービスが混み合っている時など、ツイートが表示されない場合もあります。